

Cardno

オーストラリアに本拠を置くプロフェッショナル サービス企業。世界各地の拠点よりアクセスをするお客様と従業員にシームレスな接続を提供



- 200 以上の支社を展開するプロフェッショナルインフラストラクチャおよび環境サービス企業
- 遠隔地からのセットアップ時に、AP を箱から出してそのまま利用できるようにすべて事前設定可能
- Meraki の新機能が自動的に追加されるので安心



Cardno は、オーストラリアに本拠を置く社会インフラおよび物理インフラのプロフェッショナル サービス企業で、世界規模で物理インフラの開発および整備に携わっています。世界各地の会社や個人のプロジェクトを計画、設計、提供する必要があるため、Cardno はモバイルがベースであり、クライアントや社内チームと常に連絡を取り合います。プロジェクト サイト間には頻繁にファイルやり取りが発生し、さまざまな動きの掌握が求められます。そのすべてにおいて、信頼性の高い接続が必要になります。

Cardno はブリスベンを拠点としていますが、オーストラリア国内に 90 カ所、国外にもアフリカや東南アジアなどの新興市場を含む 200 カ所以上にオフィスを展開しています。たったの 4 人というネットワークチームでは、統合された管理プラットフォームなしでは、仕事の量も、直面する課題も、到底対処できるものではありません。そのため、Cardno では、Cisco Meraki のクラウド ネットワークを導入して、ネットワーク全体を一括管理しています。事前設定から制御、分析、レポートに至るまで、ほぼすべての作業をダッシュボード上でほんの数回クリックするだけで簡単に行うことができます。Cardno では、現在までに、Meraki MR16 および MR18 アクセス ポイントと Meraki MX60 セキュリティ アプライアンスを世界各地のオフィスに導入してきました。

Cardno は、ナイジェリア支社に新しいワイヤレス接続を導入する際、言語の壁、ハードウェアの輸入制限、人材不足などのさまざまな問題に直面しました。より導入しやすくし、リスクを軽減するために、導入前にダッシュボードを使って Meraki AP を事前設定しました。ハードウェアが手元に届いてから、セットアップをサードパーティの請負業者に依頼

し、電話で指示しながらセットアップを行いました。この深夜のたった 1 回の電話だけで、海外支社のネットワークはほんの数時間で稼働し始めました。ネットワーク担当者を海外出張させる必要もなく、遠隔でネットワークのセットアップと管理をすることができるため、このソリューションはコストの削減と効率の向上にも貢献しています。

Cardno のビジネスは、企画案を出しプロジェクトを獲得することによって成り立っています。Cardno のクライアントの多くは、スケジュールを特に気にしていて、期日までにプロジェクトが完了することを重視しています。そのため、入札においては、ネットワークのセットアップスケジュールが 1 つの重要な要素になります。Cardno では、導入前にすべての AP を事前設定し、オフィス開設に関するわかりやすい手順書を作成することで、ネットワークの専門的な知識がない従業員にでも簡単に Meraki AP のセットアップ作業ができるようにしています。これにより、プロジェクト サイトでのワイヤレス ネットワークのセットアップやテイクダウンに時間がかからず、その分のコストを削減できるので、クライアントに好印象を与えることができます。

ネットワークの導入が簡単になることに加えて、ハブアンドスポークモデルを廃止してネットワークを拡大するため、IT チームにとってサイト間接続も非常に重要でした。そのため、Cardno では、オーストラリア国内の 60 カ所のブランチとプロジェクト サイトに MX60 セキュリティ アプライアンスを導入することで、マルチサイト環境を構築しました。拠点間接続は、Cardno チームがクライアントからの要求に応える上で欠かすことができません。たとえば、担当者が顧客の拠点で監査を実施した時、会社にファイルを送り返して、ドキュメントを返送してもらう場合に、堅固なネットワーク接続が必要になります。

MX60 セキュリティ アプライアンスは、他のすべての MX シリーズと同様に、デュアル WAN アップリンクと USB 3G/4G アップリンクを提供しています。これらのアップリンクは、同時使用できるほか、プライマリアップリンクがダウンした場合に自動的にフェイルオーバーするように設定することもできます。ダウンタイムや中断を防ぐことができるので安心です。すべての MX シリーズで、アップリンク フェイルオーバーに加え、セカンダリ MX へのアクティブ/パッシブのウォーム スペア フェイルオーバーもサポートしており、アプライアンスの整合性が確保さ

「Cisco Meraki のプラットフォームで気に入っていることは、時間とともに進化することです。ほかの製品のようにいつまで経っても購入したときのままで、新しいモデルを買わない限り何も変わることがない、ということはありません。常に Meraki チームが、新しい機能を提供してくれるので、みるみるうちに進化していっています」

– Cardno シニア ネットワーク エンジニア Cristian Lighezan 氏

れます。さらに、Meraki のハードウェアとダッシュボードのインテリジェンス機能により、リンクがダウンしたときに自動的にバックアップリンクに切り替えるため、IT チームの時間とリソースを節約できます。

多数の支社を抱える Cardno では、すべての拠点に同じ設定を適用するために、事前設定したテンプレートを最大限に活用しています。たとえば、コンテンツ フィルタリングを使用すれば、従業員がどの拠点からアクセスしても同じネットワーク接続環境を提供することができます。これにより、ユーザがインターネットの利便性を得られるようになるだけでなく、拡張性と社内のコンプライアンスも確保されます。すべてのユーザがネットワークを有効に利用できるように、トラフィック シェーピングも使用しています。以前は、多くのアクティビティを実行するユー

ザがいくつかのアップロードを行うだけでネットワークが飽和状態になってしまいましたが、クライアントごとの帯域幅制限をかけることができるので、単一のユーザやアクティビティによってネットワークが飽和することはなくなりました。

MR ワイヤレス製品では、ゲスト用とスタッフ用に 2 つの SSID を導入しました。モバイルによるデータ消費を最小限に抑え、従業員がデータの制限を超えないように、Cardno 支社に入ると従業員のモバイル端末が自動的にゲスト ネットワークに接続されるように設定しました。これにより、データ消費が大幅に減っただけでなく、組織の大幅なコスト削減も実現できました。

すべてのネットワーク アクティビティは、ダッシュボード上で分析されます。IT チームは、ダッシュボードの分析機能を使用して大量のトラフィックの送信元を特定するとともに、同様の月次レポートを各部署のマネージャに配信して従業員の日々の活動を把握できるようにしました。各部署のマネージャにはそれぞれの支社の管理責任があり、それには従業員の業績も含まれるため、Meraki の分析とレポートは組織の意思決定において重要な役割を担っています。

もう 1 つの優れた機能は、短期バースト パケット キャプチャです。その場に誰もいなくても詳しい情報を収集することができ、トラブルシューティングに役立ちます。分析用に詳しいトラフィックをキャプチャするパケット キャプチャは CloudShark と統合されており、どんな端末からでも利用できます。接続に時間がかかる、アプリケーションが正しく動作しないなどのクレームが報告された場合に、ネットワークの問題を簡単に特定してトラブルシューティングを行うことができます。

現在、Cardno のネットワークは、世界各地のすべての拠点でシームレスに機能しています。Meraki ソリューションを使ったプラットフォームは、今までの懸念点や不整合が解消され、面倒な設定もなくなり、安心感、可視性、信頼性の高い一貫したユーザ エクスペリエンスがもたらされています。Meraki 製品を使用した、世界各地にある端末をクラウド上で管理できる Cardno ネットワークは、クラウドの真価、そして組織にもたらす柔軟性を証明しています。

Cardno の IT チームは、会社のネットワーキングのニーズを満たすことができるという新たな自信を得ることができました。

©2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2015 年 2 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先